

学校関係者評価報告書

愛媛県立大洲高等学校

学校番号(30)

評価実施日		令和7年2月19日(水)		
委員	氏名	所属等	氏名	所属等
	松田 智子	学校評議員	山本 憲矢	学校評議員
	中川 義博	学校評議員	篠崎 守良	元PTA副会長
	濱田 耕造	学校評議員	林田美智代	PTA副会長
	二宮 務	学校評議員	久保田浩史	学校関係者

評価・提言等	提言等に対する改善方策等
<p>1 教育目標</p> <p>望ましい生徒像に関して、生徒の肯定的な評価が非常に高いのがすばらしいと言える。教育目標に対する保護者の理解度については温度差がある。やむを得ないところもあるが、教育目標についての考えが生徒を通じて伝わっていないのではないだろうか。また、保護者が教育目標にどの程度関心があるかに左右されると思う。ただ、もっと分かりやすい方法で提示してもらいたい。スクールミッション、スクールポリシーは独特な教育用語が保護者にとっては受け入れにくいのかもかもしれない。</p> <p>2 教育課程について</p> <p>1年生の段階での文理選択が難しい生徒もいるのではないか。コース選択については、柔軟な対応をしてもらいたい。</p> <p>3 学習指導について</p> <p>昨年度と比較すると、生徒アンケートでは授業の進度、分かりやすい授業、教え方の工夫といった項目で、肯定的な評価が向上しており、好ましい傾向である。教員の指導力を高めるための努力の成果と言える。授業を参観しても生徒の授業態度は大変良かった。</p> <p>ここ最近、学習方法の改善についていろいろ提示されている。教科によっては、生徒が主体的に考え、学習を進めていく授業も必要である。学習意欲の喚起や思考力・判断力・表現力の向上などをお願いしたい。</p>	<p>○教育目標について情報発信に努めるとともに、PTA総会や懇談会の機会に丁寧な説明を通して、相互の信頼関係の醸成に努めたい。</p> <p>○3年でのコース変更はカリキュラム上難しいが、理系の生徒が文系の学部学科を受験する場合もあるので、今後とも個別指導などで対応していきたい。</p> <p>○現在、タブレットをはじめとするICT機器を授業や課題の提出に活用している。研修を通じて、教員のスキルアップを図り、教科指導力の向上を図りたい。また、普通科は「総合的な探究の時間」、商業科は「課題研究」において、大洲市や関係団体と連携して地域の課題の解決に向けた取組を行っている。こうした時間も活用して、生徒が主体的に考え、学習を進めていく授業に努めたい。</p>

4 進路指導について

総合型選抜、学校推薦型選抜をはじめ、成果をあげている。大洲高校に行けばよかったという声も耳にするようになった。

ここ最近、大洲から松山の高校へ進学する生徒が増加しているが、今一度大洲高校の良さに気付くチャンスと言える。引き続き、大洲高校の実績をアピールするとともに、統合後を見据えて学校の魅力を発信してもらいたい。

5 生徒指導について

登下校の様子、挨拶など、特に気になる行動は見られない。正門付近ですれ違ったりする時など、よく挨拶をしてくれる。

統合を機に制服が見直されるようなので、ジェンダーフリーに配慮するとともに、素材も改善してもらいたい。

6 特別活動について

中学生は高校の学校行事に大変興味を持っているようである。情報発信や中高の交流などができるとより大洲高校の魅力が中学生に伝わるのではないだろうか。

仮装行列はかなりの時間をかけて準備していると思われるが、年々その成果は見られなくなっていると感じている。

7 教育環境について

生徒アンケート、保護者アンケート共に肯定的な評価が毎年低い。教員による施設・設備の点検には限界があるので、今後とも、環境改善に努めてもらいたい。

○総合型選抜、学校推薦型選抜では一定の成果をあげたと考えている。日々の授業を大切にすることはもちろんのこと、習熟度に応じた講座編成や模試、補習などを効果的に行うことによって、個々の生徒に応じたきめ細かな指導ができるように工夫したい。進路実績については、引き続き分かりやすい形でスピーディーに発信していきたい。

○今年度は特定の場所での交通事故が見られたので、ヘルメット着用の意義と交通ルールを遵守することの大切さを繰り返すとともに、通学路の危険箇所などについて指導を徹底していきたい。制服の見直しについては、ジェンダーフリーに配慮した形で進めているところである。

○生徒が生き生きと活動できる環境を整えると同時に、保護者や地域の方々にも気軽に楽しんでいただける学校行事になるよう、教職員がサポートしていきたい。また、生徒の生活体験が少なくなる中、生徒の創意工夫を育みながら丁寧な指導に努めていきたい。

○施設・設備の改善は、県の意向が優先で難しいところがあるが、来年度はプールや北教棟を解体し、クラブハウスを新設、引き続き、体育館や第二教棟の改修も行う予定である。生徒には負担をかけると思うが環境改善を進めていきたい。

<p>8 その他</p> <p>(1) 令和8年度に農業科が設置される。様々な希望を持つ生徒の活躍を期待している。</p> <p>(2) 高校生ビジネスチャレンジプログラムに5組が参加している。今後も官学連携に努めてもらいたい。</p> <p>(3) 全商検定で全9種目1級取得者が3名であった。商業科の頑張りを称えたい。</p>	<p>○大洲農業高校とも協議を重ねている。普農連携、農商連携を通じて、進路の幅を広げるなど、新しい魅力をアピールしていきたい。</p> <p>○普通科は「総合的な探究の時間」、商業科は「課題研究」において、大洲市や関係団体と連携して地域の課題の解決に向けた取組を行っている。3年間を通じた研究成果を進路実現に生かしていきたい。</p> <p>○商業教育の成果や積極的なアピールを通じて、更に商業科の魅力を高めていきたい。</p>
---	--